

# 田原市横断歩道橋修繕計画



令和8年2月

田原市 都市建設部 維持管理課

# 目次

---

1. 計画策定の背景と目的	p. 1
2. 計画期間と対象施設	p. 2
3. 田原市における横断歩道橋の状況	p. 4
4. 横断歩道橋個別施設維持管理計画	p. 7
5. 新技術等の活用方針	p. 9
6. 費用の縮減に関する方針	p. 10
7. 個別の構造物ごとの事項	p. 10
(別表) 維持管理計画表	p. 11

## 1. 計画策定の背景と目的

### 1.1 計画策定の背景

平成 26 年 7 月から法定点検が施行され、田原市では、平成 28 年度に 1 巡目点検、令和 3 年度に 2 巡目点検を行い、横断歩道橋の健全性把握を目的とした定期点検を 5 年に 1 度の頻度で実施しています。

老朽化対策としては、策定した計画に基づき平成 28 年度から現時点（2026 年 2 月時点）までに、各横断歩道橋の補修工事を行っており、今後も計画的に対策を実施していく予定です。

一方で、田原市が管理する横断歩道橋は、2026 年 2 月現在 3 橋あり、そのすべてが架設後 50 年以上経過している状況であることから、今後さらに老朽化が進行することが予想されます。そのため、これまで以上に定期的な点検・診断の実施と早期の修繕が必要となり、実施すべき予防保全的修繕や新技術の活用、費用削減等の効率的・効果的な取組が求められるため、『田原市横断歩道橋修繕計画』を改訂する運びとなりました。



<巴江歩道橋>



<豊島横断歩道橋>



<大久保歩道橋>

写真 1 田原市が管理する横断歩道橋（3 橋）

## 1.2 本計画の目的

本市が管理する横断歩道橋における安全かつ円滑な交通を確保するため、横断歩道橋の定期点検・診断結果や第三者被害影響等を基に、修繕計画（優先順位）を策定し、横断歩道橋の長寿命化及び修繕に係る費用の縮減を図ることを目的としています。

## 2. 計画期間と対象施設

### 2.1 計画期間

本計画の計画期間は、2026年度から2035年度までの10年間とします。

**計画期間：2026年度（令和8年度）～2035年度（令和17年度）**

なお、定期点検により新たに措置が必要な箇所が確認されることや優先度に変更される可能性があることを考慮し、最新の点検結果に基づく計画の見直し（フォローアップ）を適宜実施します。さらに、将来の事業費の推移を示すために長期計画として各横断歩道橋の100年活用を目指したシミュレーションを行うこととします。

### 2.2 対象施設

本計画では、田原市が管理するすべての横断歩道橋（3橋）を対象とします。

**表1 田原市が管理する横断歩道橋**

施設名称	所在地	橋長 (m)	全幅員 (m)	上部工形式	共用年度
巴江歩道橋	田原町 巴江地内	68.3	3.0	中路式鋼製床版鈹桁橋	昭和49年 (1974年)
豊島横断歩道橋	豊島町 榎沢地内	26.0	1.9	中路式鋼製床版鈹桁橋	昭和45年 (1970年)
大久保歩道橋	大久保町 二又	12.3	1.6	中路式鋼製床版鈹桁橋	昭和43年 (1968年)

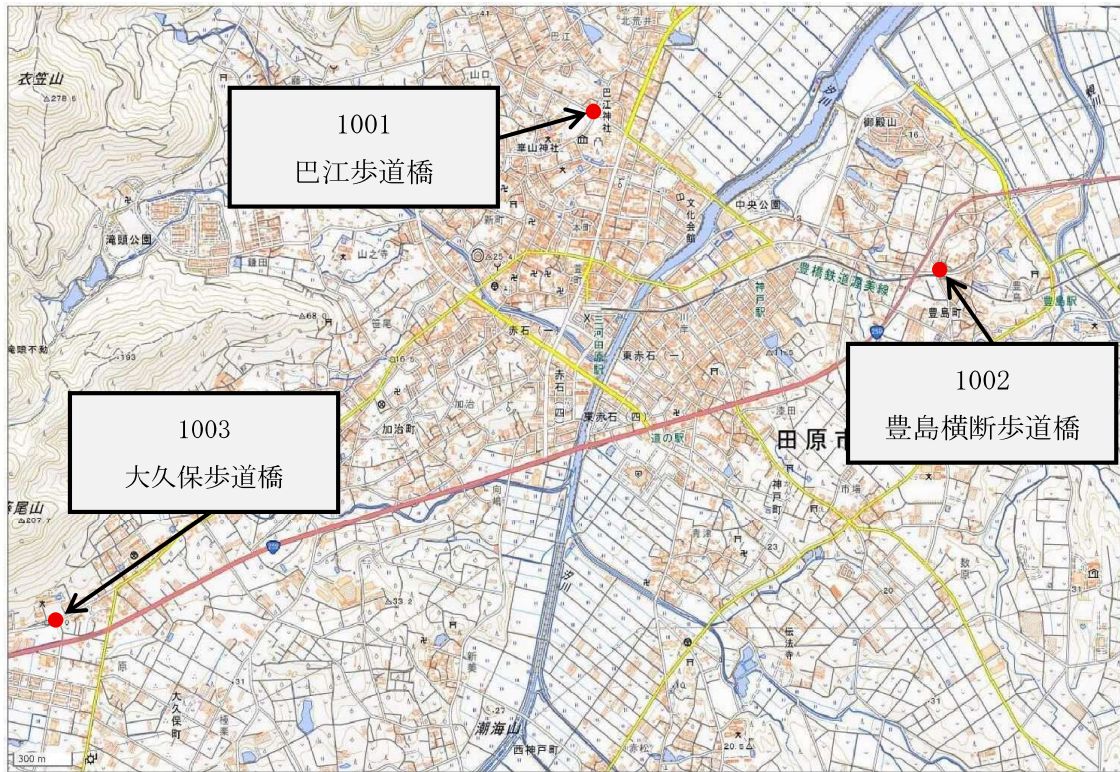


図1 田原市が管理する横断歩道橋位置図

### 3. 田原市における横断歩道橋の状況

#### 3.1 定期点検の実施

本市では、橋梁の損傷・劣化を早期に発見し、適切な対応を図るため国土交通省・道路局の横断歩道橋定期点検要領及び愛知県道路維持課の横断歩道橋点検要領に基づき、令和3年度に2巡目点検を実施しました。令和8年度には3巡目の定期点検の実施を予定しております。



＜巴江歩道橋＞



＜豊島横断歩道橋＞



＜大久保歩道橋＞

写真2 横断歩道橋（3橋）の点検状況

### 3.2 定期点検結果及び修繕の状況

本市で行った平成28年度の1巡目点検で健全性Ⅲと診断された「巴江歩道橋」、「大久保歩道橋」については、令和2年度までに修繕を行い、令和3年度に実施した2巡目点検結果では、本市が管理する横断歩道橋(3橋)の内2橋は健全性Ⅱ、1橋は健全性Ⅰと診断されました。

修繕により健全性が改善されたことが確認されましたが、一方で、各施設において腐食・防食機能の劣化、剥離・鉄筋露出など、施設の老朽化が進んでいることも確認されました。

**表2 2巡目点検に基づく横断歩道橋の健全性**

施設名	健全性	主な変状
巴江歩道橋	Ⅱ	腐食・防食機能の劣化、変形・欠損、不法占有
豊島横断歩道橋	Ⅱ	腐食・防食機能の劣化、剥離・鉄筋露出
大久保歩道橋	Ⅰ	腐食・防食機能の劣化

**表3 健全性の判定区分**

判定区分		定義
Ⅰ	健全	横断歩道橋の機能に支障が生じていない状態。
Ⅱ	予防保全段階	横断歩道橋の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態。
Ⅲ	早期措置段階	横断歩道橋の機能に支障が生じる可能性があり、早期に措置を講ずべき状態。
Ⅳ	緊急措置段階	横断歩道橋の機能に支障が生じている、又は生じる可能性が著しく高く、緊急に措置を講ずべき状態。

**巴江歩道橋**



<腐食>



<変形・欠損>

写真3 2巡目点検で確認された主な変状

**豊島横断歩道橋**



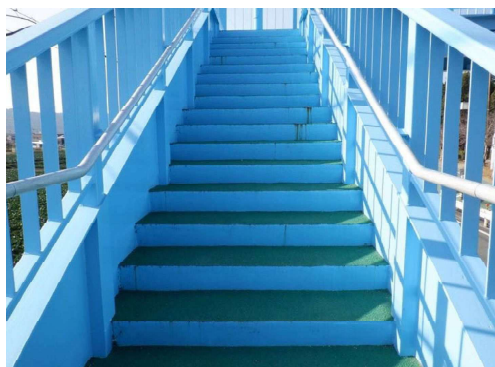
<腐食>



<剥離・鉄筋露出>

写真4 2巡目点検で確認された主な変状

**大久保歩道橋**



<腐食>

写真5 2巡目点検で確認された主な変状

## 4. 横断歩道橋個別施設維持管理計画

### 4.1 基本方針

#### (1) 点検計画

国土交通省・道路局の横断歩道橋定期点検要領及び愛知県道路維持課の横断歩道橋点検要領に基づき、すべての横断歩道橋(3橋)を対象に、5年に1回の頻度で近接目視による定期点検を実施します。

#### (2) 修繕計画

従来の事後保全型の修繕から、予防保全型の修繕へと抜本的に転換し、施設の長寿命化とライフサイクルコストの縮減を図る観点から、損傷が進行中であると判断されるⅡ判定の橋梁について、順次修繕を行っていく方針とします。予防保全型による維持管理により、横断歩道橋の寿命を100年間とすることを目標とします。

修繕にあたっては、「損傷の程度」、「第三者へ与える影響」、「路線の重要度」等の要素を総合的に判断し、優先順位をつけ、優先度の高い橋梁から修繕計画・修繕設計を行った上で、修繕工事を実施します。

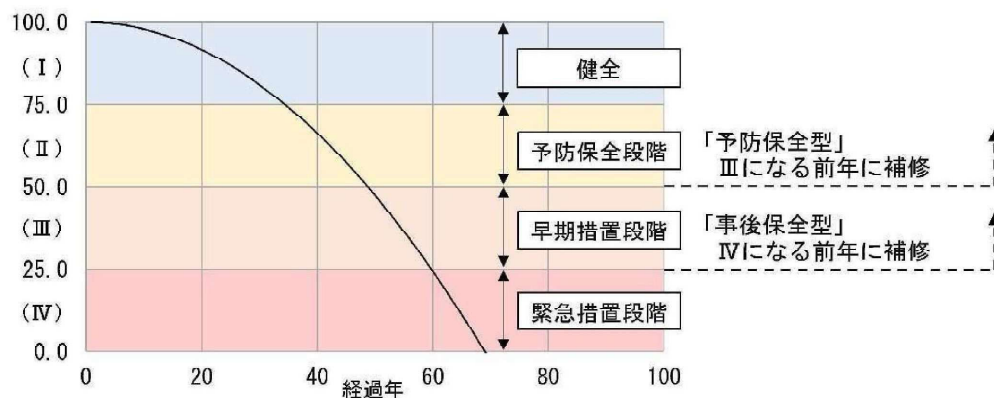


図2 予防保全型及び事後保全型の修繕タイミング

### 4.2 修繕計画によるコスト縮減効果

横断歩道橋の100年活用を目指した今後の修繕費用について、従来の事後保全型と予防保全型で比較を行いました。予防保全型の修繕では先行投資が必要となるため、当初の10年間は10百万円/年の費用を要します。一方で、100年活用を目指した計画期間で見た場合には、年間平均は2百万円/年となり、事後保全型の年間平均3百万円/年と比べて、1百万円/年の縮減効果を見込むことができます。

表4 10年毎の修繕費用の集計結果

(単位：百万円)

維持管理方針	2026～ 2035	2036～ 2045	2046～ 2055	2056～ 2065	2066～ 2075	合計
事後保全型 事業費	20.6	37.2	118.9	123.6	131.9	432.2
予防法全型 事業費	9.9	30.8	93.8	103.7	107.5	345.7

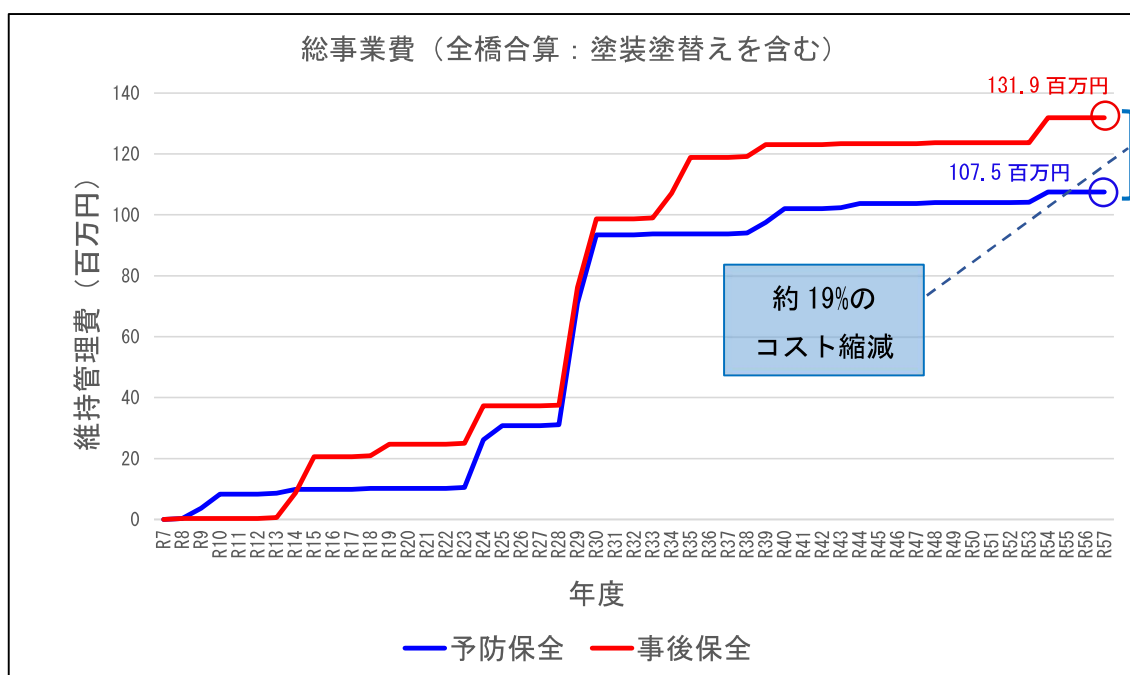


図3 年度毎の修繕費用の算出結果



## 6. 費用の縮減に関する方針

田原市が管理する横断歩道橋（3 橋）は、通学路における児童の交通の安全確保を目的としており、重要な経路として利用されていることから、現状では集約化・撤去は困難です。そのため、現在架橋されている横断歩道橋の復旧が見込めない状況となった場合に、利用状況や社会環境の変化、地元の意見を踏まえながら架替えや撤去を検討します。



## 7. 個別の構造物ごとの事項

本市が管理する横断歩道橋 3 橋の点検計画及び修繕計画について、維持管理計画表を次頁以降に添付します。

なお、点検結果や修繕実施状況・予算措置状況等に応じて随時計画の見直しを行うものとします。

(別表) 維持管理計画表

No.	整理番号	橋梁名	路線名	所在地	橋種	諸元			点検結果		対策の内容・時期										措置内容					
						架設年	橋長 (m)	全幅員 (m)	実施年度	判定区分	2027 (R8)	2028 (R9)	2029 (R10)	2030 (R11)	2031 (R12)	2032 (R13)	2033 (R14)	2034 (R15)	2035 (R16)	2036 (R17)	実施年度	概算工事費 (十円)				
1	1001	巴江歩道橋		田原市田原町巴江	鋼橋	1974	68.3	3.0	R3	II	点検	修繕													R9	3,601
2	1002	豊島横断歩道橋		田原市豊島町樫沢	鋼橋	1970	26.0	1.9	R3	II	点検		修繕												R10	4,810
3	1003	大久保歩道橋		田原市大久保町二又	鋼橋	1968	12.3	1.6	R3	I	点検														R14	1,509